

1. 科目名 (単位数)	日本文学と文化 (2 単位)		3. 科目番号	EJJP2383
2. 授業担当教員	高 峽			
4. 授業形態	講義、演習 (グループディスカッション・グループワーク含む)		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	いま、日本の「文化」が問われている。その問いに応答するために、本講義では日本文学と文化の流れを概観しながら、日本人のアイデンティティを再考するとともに、世界に向けて「日本」を発信するための力を養うことを目的とする。具体的には、日本の代表的な文学作品を取り上げ、作品や作家の魅力、意義等について考察するとともに、作品が書かれた時代的・社会的・思想的背景からアプローチして、作品の世界観に迫る。併せて、受講者各自が文学作品を読む習慣を身につけ、知識や見識を深め、表現力や批評的精神を高めることを目指す。			
8. 学習目標	そのために次の3つの到達目標を設定する。 1) 日本の文学・文化に関する幅広い知識を身につけ、その内容をわかりやすく説明することができる。 2) 日本の文学・文化に関する基本的な知識を自らの日本語の語彙力・表現力を高めるために役立てることができる。 3) 日本の文学・文化に関する教養を深めることをとおして、個人や社会に対する深い洞察力や豊かな想像力をもつことができる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	【アサイメント】 予め参加者全員が、学習課題の事前学習に基づいて準備してから授業に参加する。毎回レポーターを指定する。授業への参加態度も成績評価の一つとなる。 レポーターが発表、討論を行った後、全員が短いコメントを書いて授業が終了するまでに提出する。オンライン授業になる場合には、授業の最後にGoogle Formsで自由記述問題や感想を書いてもらう形になる。これは試験 (小テスト・期末テスト等) の代わりになる。 【課題レポート】 授業中で取り上げた文学作品について1,000字以上のレポートを書く。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 飯田祐子他編『文学で考える「日本」とは何か』双文社出版、2007。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1 日本の文学・文化に関する幅広い知識を身につけ、その内容をわかりやすく説明することができたか。 2 日本の文学・文化に関する基本的な知識を自らの日本語の語彙力・表現力を高めるために役立てることができたか。 3 日本の文学・文化に関する教養を深めることをとおして、個人や社会に対する深い洞察力や豊かな想像力をもつことができたか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の30% 2 試験 (小テスト・期末テスト等) 総合点の30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の40% 上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の修得の条件であることも配慮した。			
12. 受講生へのメッセージ	欠席しないこと。積極的に授業に参加することが必要で、毎回発言を求める。授業中の態度、参加度が成績評価の主な対象となる。 なお、受講生の日本語レベルなどにより、受講生と相談の上、多少授業内容を調整することも可能である。			
13. オフィスアワー	授業についての質問は、授業中あるいは授業終了後に教室にて受付ける。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	普請中 / 森鷗外著 ① (p.8)		事前学習	テキスト pp.8~12 を読む。
			事後学習	もう一回テキストを読む。
第2回	普請中 / 森鷗外著 ② (pp.9~10)		事前学習	作者森鷗外の年譜を作成、次回の授業までに提出する。
			事後学習	p.14 の問題について考える。
第3回	普請中 / 森鷗外著 ③ (pp.11~12)		事前学習	1910 年前後の日本および世界情勢について調べ、次回の授業までに提出する。
			事後学習	小レポートを書き、次回の授業までに提出する。
第4回	十二月八日 / 太宰治著 ① (pp.30~31)		事前学習	テキスト pp.30~36 を読む。
			事後学習	もう一回テキストを読む。
第5回	十二月八日 / 太宰治著 ② (pp.32~33)		事前学習	作者太宰治の年譜を作成、次回の授業までに提出する。
			事後学習	テキスト p.38 の問題について考える。
第6回	十二月八日 / 太宰治著 ③ (pp.34~36)		事前学習	1942 年前後の日本について調べ、次回の授業までに提出する。
			事後学習	小レポートを書き、次回の授業までに提出する

第7回	祝といふ男 / 牛島春子著 ① (pp.50~51)	事前学習	テキスト pp.50~62 を読む。
		事後学習	もう一回テキストを読む。
第8回	祝といふ男 / 牛島春子著 ② (pp.52~55)	事前学習	作者牛島春子の年譜を作成、次回の授業までに提出する。
		事後学習	p.64 の問題について考える。
第9回	祝といふ男 / 牛島春子著 ③ (pp.56~62)	事前学習	「満州国」の歴史について調べ、次回の授業までに提出する。
		事後学習	小レポートを書き、次回の授業までに提出する。
第10回	火垂るの墓 / 野坂昭如著 ① (pp.72~74)	事前学習	テキスト pp.72~87 を読む。
		事後学習	もう一回テキストを読む。
第11回	火垂るの墓 / 野坂昭如著 ② (pp.75~79)	事前学習	作者野坂昭如の年譜を作成、次回の授業までに提出する。
		事後学習	p.89 の問題について考える。
第12回	火垂るの墓 / 野坂昭如著 ③ (pp.80~87)	事前学習	作品の時代背景について調べ、次回の授業までに提出する。
		事後学習	小レポートを書き、次回の授業までに提出する。
第13回	アメリカン・スクール / 小島信夫著 ① (pp.90~92)	事前学習	テキスト pp.90~114 を読む。
		事後学習	もう一回テキストを読む。
第14回	アメリカン・スクール / 小島信夫著 ② (pp.93~103)	事前学習	作者小島信夫の年譜を作成、次回の授業までに提出する。
		事後学習	p.116 の問題について考える。
第15回	アメリカン・スクール / 小島信夫著 ③ (pp.104~114)	事前学習	当時のアメリカと日本の関係について調べ、次回の授業までに提出する。
		事後学習	小レポートを書き、期限までに提出する。